

autoCULT

Volvo C-303 "Paris-Dakar" (スウェーデン, 1983)

レンスポート

Scale 1/43

#07022

available

01/2022

Limited edition 333 Stk.



予期せぬ勝利

パリからダカールへの過酷な長距離ラリーで、生産終了から3年が経っていた車を、ある人物が使用し、その信頼性と品質に確信を持った。そしてもし最終的に結果が上位だった場合、これはレース界でのセンセーション以外のなものでもない。これはただの空想でなく、ボルボファクトリーチームに1983年に実際に起こったことである。

レースの成功の基礎となったのはボルボ タイプC-303だった。これは1960年代後半に初めて作られた、C-300 ファミリーの前輪駆動の2軸車である。量産は1974年に始まり、ボルボの工場で8000台近くが生産され、1980年に生産終了となった。

1983年1月20日、世界中の報道機関は、スウェーデンのボルボファクトリーチーム、ドライバーのハッセ・ヘンリクソン、コドライバーのスチュール・ベルンハートソン、そしてメカニックのジョン・グラナンが、パリダカールで10

トン以下のトラッククラスでトップでフィニッシュしたと報道した。全クラスの最終結果では、20位となり、参加したすべてのトラックの中で2位になった。当時、アフリカ大陸を巡る第5回目の長距離ラリーで、広漠とした恐怖のテネレ砂漠を初めて通過できたということだけで、その結果を評価してし過ぎるということはない。優勝車は、3年前に生産を終了した量産車と技術的に同レベルのものだった。ボルボの整備士は、80ガロンの燃料タンク、ボディの外部に溶接のロールバー、あとは追加ヘッドライトのみを追加しただけだった。エンジンは低オクタン価ガソリンで作動するように変更され、運転席に追加の計器が取り付けられた。それ以上の変更はなかった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de